

「郷土を愛し、未来を創る人づくり」のための
自己点検・評価報告書

令和3年3月

御前崎市教育委員会

〈参考〉地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

第二十七条 地方公共団体の長は、当該地方公共団体が設置する幼保連携型認定こども園に関する事務のうち、幼保連携型認定こども園における教育課程に関する基本的事項の策定その他の当該地方公共団体の教育委員会の権限に属する事務と密接な関連を有するものとして当該地方公共団体の規則で定めるものの実施に当たっては、当該教育委員会の意見を聴かななければならない。

第二十九条 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合には、教育委員会の意見をきかななければならない。

目 次

I はじめに	1
II 点検・評価について	2
III 重点取組	3
IV 御前崎市教育委員会自己点検及び評価	10
・5-1-1 スクラムによる園・学校・家庭・地域の教育力の向上	10
・5-1-2 地域ぐるみで取り組む青少年健全育成の推進	13
・5-2-1 御前崎を愛し知・徳・体の調和のとれた生き抜くための 資質・能力の育成	18
・5-2-2 主体的な遊びを通して人として生きていく力の基礎の育成---	24
・5-2-3 安全で充実した教育環境の整備	28
・5-2-4 安全で魅力ある学校給食の提供と食育・地産地消の推進 ---	29
・5-3-1 楽しく学び積極的に参加できる生涯学習の推進	31
・5-3-2 郷土の誇りである文化財の保存と活用	34
・5-3-3 市民とともに考えともに歩む図書館づくり	36
・3-6-1 生涯を通じた体づくり	39
V 令和2年度教育委員会の活動	41
VI 総合評価	43

I はじめに

御前崎市教育委員会では、第2次御前崎市総合計画の基本目標「郷土を愛し 未来を創る 人づくり」に基づき、毎年度発行している「スクラム御前崎」の中で、教育の基本目標と主要施策を明確に示すとともに、施策の実現に努めています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。）では、第26条によって、教育行政の効果的推進及び市民への説明責任を果たすべく、「教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う」ことを義務付けています。

このことを受けて御前崎市教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに、市民への公表を行っています。

本報告書は令和2年度御前崎市教育委員会の活動及び「スクラム御前崎」で示した重点取組の実現のため点検及び評価を行い、その客観性を確保するため、学識経験者4名から所見をいただくとともに、第三者的立場から常葉大学教育学部教授の堀井啓幸氏にも外部評価をしていただき、ここに報告書として取りまとめました。

市民の感覚、視点を持って点検・評価を行うことは、今日の課題や今後の取組方針が明確になる点において、大変意義のあるものと思います。

今後も「郷土を愛し 未来を創る 人づくり」を基本目標として、園、学校、地域、行政がスクラムを組み、それぞれの施策を推進してまいる所存です。

令和3年3月

御前崎市教育委員会

教 育 長 河原崎 全

Ⅱ 点検・評価について

1. 趣 旨

御前崎市教育委員会は、地方教育行政法第26条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取組状況について、政策効果を把握し、その必要性・効率性等の観点から、自ら点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、この点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、市議会に提出するとともに一般に公表することにより、市民に対する説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進しようとするものです。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は、令和2年度「スクラム御前崎」に沿って、今年度における教育委員会の主要な施策・事業を対象として実施いたしました。このため、スクラム御前崎P1の「重点取組」として掲げた13の施策とそれに伴う事業について評価を行っています。

3. 点検・評価の方法

点検及び評価の実施にあたっては、令和2年度の事業について、その進捗状況を総括するとともに、内部評価を行うことにより課題や今後の取組みの方向性を明らかにし、その結果を外部評価として、元中学校長 杉浦 尚志 氏、元教育委員 増田 美恵子 氏、元園長 渡辺 和子 氏、民間企業代表 植田 浩行氏の御意見や、常葉大学教育学部教授 堀井 啓幸 氏に総合評価を頂くことにより、教育に関する学識経験者の知見活用に努めました。

4. 点検・評価の表し方

点検及び評価については、今年度執行予定の事業を、今年度3月末までにどれだけ実行できたかを「執行度」として0～100%で表しました。また、その事業自体の「妥当性」「効果性」「効率性」をそれぞれ、1「非常に低い」、2「低い」、3「どちらともいえない」、4「高い」、5「非常に高い」の5段階で表しました。「妥当性」とは、「第2次御前崎市総合計画 2016～2025」に掲げた目標達成のために、その事業自体がどれほど妥当かを評価しています。「効果性」とは、実際に事業を進めた結果、得た効果について評価しています。「効率性」とは、コスト面・人員面において費用対効果がどれほどかを評価しています。

新型コロナウイルス感染症により実施できなかった事業については、「－」で表しています。

Ⅲ 重点取組

今回教育委員会の自己点検・評価についての報告書をまとめるにあたり、令和2年度重点取組として掲げた目標に対する評価をまとめました。今年度執行予定の事業を、今年度3月末までにどれだけ遂行できたかを「執行度」として0～100%で表しています。

◎点検・評価について	◎今後の方向について
○妥当性 5・・・非常に高い	①継続
〃 4・・・高い	②完了
〃 3・・・どちらともいえない	③拡大
〃 2・・・低い	④縮小
〃 1・・・非常に低い	⑤転換
○効果性・効率性も上記に準じて評価しています。	⑥中止

1. スクラムで人づくりに取り組みます

(1) 心身ともにたくましい子どもの育成

心身ともにたくましい子どもを育成するために、次の施策で事業を行った。その結果、コロナ禍においても各園・学校でスクラムグッドマナー運動を継続し、あいさつができる子どもの増加につながった。来年度以降は、変化の激しい社会をたくましく生きていく子どもを育成するためにキャリア教育を充実させ、将来に夢を持つ児童・生徒の割合の増加につなげる。

	執行度	事業の妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の方向
スクラムグッドマナー運動の推進	80	5	4	4	4	継続
全国体力運動能力・運動習慣等調査の分析と活用	-	5	-	-	-	継続
キャリア教育の充実	90	5	4	4	4	拡大
平均	85	5	4	4	4	

(2) 市の特色を活かした教育や体験による愛郷心の育成

子供たちの愛郷心を育成するために、次の施策で事業を行った。その結果、異学年交流自然体験事業「御前崎クエスト」をはじめ、地域資源を活用した体験活動により、生きる力と郷土愛を育むことができた。来年度以降も、市の特色を活かした独自のカリキュラムにより、郷土を愛する人材を育成をしていく。

	執行度	事業の妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の方向
青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」	90	5	5	5	3	拡大
エネルギー教育の推進	50	4	4	3	3	継続
太陽光発電設備の整備とエネルギー教育への活用	100	4	4	5	3	転換
小学生海洋体験活動	70	5	5	3	3	継続
平均	77.5	4.5	4.5	4	3	

(3)生活習慣(学習習慣)の定着

園・学校・家庭・地域が連携して子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るため、次の施策で事業を行った。その結果、親子で「ゲーム障害・ネット依存」の問題を考える機会をつくることができた。来年度以降も子どもたちの生活習慣の課題として、「ゲーム障害・ネット依存」の問題に焦点を当てて取り組み、「毎日、同じ時刻に寝ている」と回答する児童生徒の割合の増加につなげる。

	執行度	事業の妥当性	効果性	効率性(コスト)	効率性(人員)	今後の方向
スクラムスクール運営協議会	50	5	5	4	4	転換
市青少年健全育成会議・地区推進委員会の開催	100	4	4	4	3	継続
「スクラム御前崎の集い」の開催	-	3	-	-	-	継続
家庭教育支援の推進	50	3	4	4	4	転換
市独自の学力調査の実施	100	5	4	4	4	継続
食育指導の推進	100	4	4	4	4	継続
平均	80	4	4.2	4	3.6	

(4)読書・読み聞かせの推進

子供の読書環境をより良くするために次の施策で事業を行った。その結果、「第2次御前崎市子ども読書活動推進計画」の取組として、市立図書館が中心となって園・学校・地域などとの連携・協働に努め、読書・読み聞かせの推進に寄与することができたため、来年度以降も引き続き園・学校・地域・市立図書館の相互連携による読書環境整備に努めていく。

	執行度	事業の妥当性	効果性	効率性(コスト)	効率性(人員)	今後の方向
学校における読書活動の推進	90	5	5	4	4	継続
市立図書館と学校図書館の連携	90	5	4	5	5	継続
園の読書環境の整備	95	4	4	3	4	継続
読み聞かせなどのボランティアとの協働	90	4	5	4	5	継続
子どものための読書環境の整備	90	5	5	4	4	継続
平均	91	4.6	4.6	4	4.4	

(5) 命を大切に教育への取組

子供たちの安心安全を確保し、児童生徒が自ら危険回避できる力を育むために次の事業を行った。その結果、子供たちの問題行動や市内における犯罪も減少してきている。来年度以降も、行政、学校、家庭、地域、企業が連携し市民が一体となり、地域ぐるみでトラブルや犯罪から子供たちを守る体制を整備し、青少年のすこやかな成長を支援していく。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
防災教育の推進	50	4	4	4	3	縮小
サポート隊	100	5	4	5	4	継続
こども110番の家	100	5	4	4	4	転換
声かけ運動	100	4	3	4	4	継続
青少年補導員活動	70	4	4	3	3	縮小
情報モラル学習の推進	90	5	5	3	5	拡大
平均	85	4.5	4	3.8	3.8	

2 学びの場の充実と円滑な接続を目指します

(1) 基礎学力の向上と得意分野の伸長

子どもたちの基礎学力の向上と得意分野の伸長を図るため、次の施策で事業を行った。その結果、標準学力調査において、前年度よりも平均正答率が向上した学年が多くみられた。来年度以降は、コロナ禍で実施できなかったスクラムゼミナール等、教職員研修を充実させ、全国学力学習状況調査等の平均正答率の向上につなげる。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
市独自の学力調査の実施	100	5	4	4	4	継続
スクラム研究会	75	5	4	4	4	継続
スクラムゼミナール	-	5	-	-	-	拡大
教職員対象各種研修会	90	5	5	4	5	継続
教諭・保育士対象各種研修会	70	5	4	4	4	継続
学習支援員等の配置	100	5	5	5	5	継続
平均	87	5	4.4	4.2	4.4	

(2) 乳幼児の保育・教育の充実と円滑な園小接続

乳幼児の保育・教育の充実と円滑な園小接続を図るため、次の施策で事業を行った。その結果、適切な就学支援につながった。来年度以降は、アプローチ・スタートアップブックを活用した職員研修会や保護者支援を充実させ、さらなる円滑な園小接続につなげる。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
自発的な遊びや体験を充実させる環境作り	85	5	4	4	4	継続
地域の教育力を生かした保育の推進	60	4	4	4	4	継続
アプローチ・スタートアップブックの活用	100	5	4	4	5	継続
平均	81.7	4.7	4	4	4.3	

3. より豊かな人生を過ごす支援をします

(1) 生きがいや潤いをもたらす文化・スポーツの振興

楽しく学び積極的に参加できる生涯学習の推進に向けて次の施策で事業を行った。その結果、多様なニーズに対応し、幅広い学習機会を提供することで多くの市民が参加することができた。来年度以降も、各団体が主体となった活動を支援し、市民ニーズの把握と学びの循環を意識する中で、時代に即した生涯学習活動を推進していく。

	執行度	事業の妥当性	効果性	効率性(コスト)	効率性(人員)	今後の方向
シニアスクール	100	5	5	5	5	継続
社会教育学級活動への支援	70	5	4	4	4	転換
生涯学習講座の企画運営と情報発信	100	5	4	4	4	継続
文化・芸術にふれる機会の提供	50	3	3	3	4	継続
市文化祭の開催	60	3	2	2	2	継続
軽スポーツ教室・大会の開催	100	4	4	4	3	継続
マリンスポーツフェスタの開催	-	5	-	-	-	継続
御前崎市振興公社との連携	75	4	4	4	3	継続
平均	79.3	4.3	3.7	3.7	3.6	

4 課題への対応を推進します

(1) 不登校、特別な支援を必要とする児童生徒への対応

不登校、特別な支援を必要とする児童生徒に対応するため、次の施策で事業を行った。その結果、中学校の不登校が減少するなど、支援を必要とする子どものあらわれに改善がみられた。来年度以降は、個別支援をさらに充実させ、不登校出現率の減少につなげる。

	執行度	事業の妥当性	効果性	効率性(コスト)	効率性(人員)	今後の方向
「しおかぜ先生」の配置	100	5	5	3	3	継続
学習支援員等の配置	100	5	5	5	5	継続
巡回相談、教育相談	100	5	5	4	5	継続
就学支援委員会、個性伸長支援教育専門家チーム会議	90	5	5	4	5	継続
適応指導教室「サンルーム」	90	5	5	4	4	継続
個性伸長支援員の配置	80	5	5	4	4	継続
療育指導員による療育の推進と充実	90	5	5	5	4	継続
平均	92.9	5	5	4.1	4.2	

(2)家庭教育支援の充実

家庭教育支援の充実を図るため、次の施策で事業を行った。その結果、子育ての悩みや不安を抱える保護者の支援につながった。来年度以降も心理学の専門家や地域の人材を活用し、家庭教育支援の充実を図る。

	執行度	事業の 妥当性	効果性	効率性 (コスト)	効率性 (人員)	今後の 方向
家庭教育支援員の配置	100	4	4	4	4	継続
家庭教育学級への支援	100	4	4	3	3	転換
家庭教育支援の推進	50	3	4	4	4	転換
巡回相談、教育相談	100	5	5	4	5	継続
地域子育て支援の充実	100	5	4	4	4	継続
平均	90	4.2	4.2	3.8	4	

(3)新学習指導要領への対応

新学習指導要領への対応を図るため、次の施策で事業を行った。その結果、小学校英語科や外国語活動の支援やICT機器を活用した授業が充実した。来年度以降は、ICT支援員の配置を拡充し、一人一台端末を効果的に活用した授業実践につなげる。

	執行度	事業の妥当性	効果性	効率性(コスト)	効率性(人員)	今後の方向
スクラムゼミナール	-	5	-	-	-	拡大
外国語指導助手(ALT)及び英語活動指導員の配置	85	5	5	4	3	継続
ICT支援員の配置	80	5	4	3	3	拡大
平均	82.5	5	4.5	3.5	3	

(4)学校教育施設・社会教育施設の整備

安全で充実した教育環境を整えるため、次の施策で事業を行った。その結果、子どもたちのより良い学習環境の基盤を構築することができた。来年度以降も運用改善や設備改修を行い、効率性を意識し、さらなる教育環境の向上を目指す。

	執行度	事業の妥当性	効果性	効率性(コスト)	効率性(人員)	今後の方向
学校のICT環境の向上	100	5	4	3	3	拡大
安全安心な教育環境の向上	100	5	4	5	4	転換
浜岡中学校校舎の改築	100	5	5	4	3	継続
新給食センターの建設	100	5	5	3	3	継続
市民会館・文化会館等の整備・改修	100	5	4	3	3	継続
体育施設の整備・改修	100	5	4	3	3	継続
平均	100	5	4.4	3.6	3.2	

(5)教職員の働き方改革

教職員の働き方改革を推進するため、次の施策で事業を行った。その結果、教職員の負担軽減につながった。来年度以降もICT環境整備やボランティア派遣などを通して、教職員が子どもと向き合う時間を確保できるような体制を整備する。

	執行度	事業の妥当性	効果性	効率性(コスト)	効率性(人員)	今後の方向
学校支援地域本部〔地域学校協働本部〕	80	5	5	4	4	継続
園職員の確保	60	5	4	4	4	継続
学校のICT環境の向上	100	5	4	3	3	拡大
平均	80	5	4.3	3.6	3.6	

Ⅳ 御前崎市教育委員会の自己点検及び評価

重点取組の点検・評価した施策についての具体的な事業を自己点検評価シートにまとめました。

今年度執行予定の事業を、今年度3月末までにどれだけ遂行できたかを「執行度」として0～100%で表しています。

◎点検・評価について	◎今後の方向について
○妥当性 5・・・非常に高い	①継続
〃 4・・・高い	②完了
〃 3・・・どちらともいえない	③拡大
〃 2・・・低い	④縮小
〃 1・・・非常に低い	⑤転換
○効果性・効率性も上記に準じて評価しています。	⑥中止

5-1-1 スクラムによる園・学校・家庭・地域の教育力の向上

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
スクラムスクール運営協議会 (学校教育課)	1-(3)	50%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>浜岡中学校区30人、御前崎中学校区24人に委員を依頼した。年間6回予定していた協議会のうち、新型コロナウイルスの影響で、第1回を中止し、第3回から第5回は、学校で開催された今井昌彦教授の講演会に代替して実施した。今年度は、「早寝・早起き・朝ごはん」のうち、「早寝」に焦点を当て、「ネット依存、ゲーム障害」を市の子供たちの課題として取り組んだ。園・学校・保護者・地域の共通の課題意識を持つことができた。</p>	<p>⑤転換</p> <p>国・県では、学校単位にコミュニティスクールを指定することを推奨しているため、学校単位に協議会を設置する。学校評議員制度とPTA活動を連動させ、本協議会の運営をコンパクトにする。年2回全体会を開催し、各校の取組を共有し、市全体の取組に発展させる。</p>
事業の妥当性	5												
効果性	5												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												
学校支援地域本部〔地域学校協働本部〕 (学校教育課)	4-(5)	80%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>園・学校の要望に応じて、登録ボランティアを派遣している。園・学校からは、継続してボランティア派遣の依頼があり、地域の貴重な人材を活用することができている。今年度は、コロナウイルス感染症拡大に伴い、例年よりも学校へのボランティア派遣数は減少しているが、建設業組合による施設整備や家庭科授業へのミシンボランティア、待機看護師の派遣などが行われた。2人の地域コーディネーターが主となり、205人35団体の登録ボランティアと園・学校との橋渡しを行っている。</p>	<p>①継続</p> <p>ボランティア登録者の高齢化と人材不足が課題である。今後は、中高生ボランティアの拡大を広め、園・小・中学校のニーズを調査していき、派遣につなげる。</p>
事業の妥当性	5												
効果性	5												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
スクラムカレンダーの作成 (学校教育課)	-	50%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	2	効率性(コスト)	2	効率性(人員)	3	<p>3ヶ月ごとに各小学校区ボランティアが作成し、全戸配付してきたが、新型コロナウイルスの影響で、教育計画が何度も変更になったため、作成したカレンダーと実際の教育計画にずれが生じた。また、感染予防対策を取りながら、ボランティアが会合を開くことができにくい状況が発生した小学校もあったため、年度途中でカレンダー作成を中止した小学校もあった。</p>	<p>④縮小</p> <p>施策として3年以上経過したことやコロナ禍で行事計画の変更が多く、カレンダーの役割が果たしにくい状況が続いていること、ボランティアの参集が困難であることなどを踏まえ、市の施策としては縮小する。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	2												
効率性(コスト)	2												
効率性(人員)	3												
シニアスクール (学校教育課)	3-(1)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>5</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	5	効率性(人員)	5	<p>コロナ禍にもかかわらず、白羽小学校32人、浜岡北小学校15人の応募があり、年間それぞれ8講座を実施した。感染予防のため、小学生との交流は限定したが、受講者の満足度も高かった。「地域とともにある学校づくり」の推進につながっている。</p>	<p>①継続</p> <p>シニアスクールの講座と総合的な学習(教科)を関連付けることにより、開かれた教育課程の実現につながるため、事業を継続する。</p>
事業の妥当性	5												
効果性	5												
効率性(コスト)	5												
効率性(人員)	5												
ホームページなどによる広報活動の充実 (教育総務課・学校教育課・社会教育課)	-	90%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>前年度の園評価や当年度の各園だよりを掲載するページを新規作成し、幼児教育に関する情報発信ができた。また、新型コロナウイルス感染症に対応した教育活動について、保護者宛通知をきずなネットだけでなく、ウェブサイトにも掲載することで、広く情報発信ができた。</p> <p>浜岡中学校校舎改築について、コンセプトやレイアウト等を広報おまえざきとウェブサイトに掲載し、市内外に情報発信した。</p> <p>教育委員会定例会、臨時会の会議録をウェブサイトに掲載し、情報発信に努めるとともに、掲載中の情報を随時修正した。</p>	<p>①継続</p> <p>今後も随時、情報をウェブサイト等に掲載し、市民の理解や協力を得られるよう努める。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
総合教育会議・移動教育委員会の実施 (教育総務課)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	3	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	3	<p>総合教育会議を2回開催した。第1回は「令和2年度標準学力調査の結果等について」、今回の結果を分析・考察した報告、前年調査との比較による課題等を共有しながら、市長部局と教育委員会で意見交換をすることができた。第2回は、教育大綱の見直しを協議した。</p> <p>移動教育委員会を1回開催した。幼稚園、こども園の職員と教育委員が話し合い、保育ニーズの多様化、保育士不足、家庭教育力の低下等の現状と課題を把握した。</p>	<p>①継続</p> <p>議論で明確になった課題について引き続き幼児教育研究会で対策の検討を重ねる。見直しを行った教育大綱に沿って、スクラム御前崎の事業を展開する。市長部局や小中学校、園などの関係各所と連携し、具体的対策を実施する。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	3												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	3												
防災教育の推進 (学校教育課)	1-(5)	50%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	3	<p>園から中学校まで統一した防災マニュアルを作成しており、年度ごと必要に応じて修正を加えながら市内で共通して取り組んでいる。防災教育については各小中学校へ、地区防災訓練については各地区に任せた形になっている。今年度はコロナの影響もあり、9月の総合防災訓練は次年度へ延期となったため実施できなかった。</p>	<p>④縮小</p> <p>地域防災訓練への参加を各校で呼びかけ、児童生徒が参加できるようにする。授業や学級活動などで防災に関する内容を取り入れるなどして、地区で活躍できる中学生(小学生)の育成を図る。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	3												
キャリア教育の充実 (学校教育課)	1-(1)	90%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>CSディレクターによって平成30年度に両中学校のキャリア教育の体制が整った。職業講座の(今年度はコロナウイルスの影響で動画で)実施により、地元の様々な職業人に触れ、生徒の夢や希望を広げている。小学校にも様々な方たちがゲストティーチャーとして招かれ、その方たちの思いや願いに触れ、望ましい職業観の育成に繋がっている。</p>	<p>③拡大</p> <p>職業体験や職業講座など開かれた教育課程を実現していくためにも、体験や講座の内容を工夫し、積極的に地域の方たちとかかわりを深める。</p>
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												

5-1-2 地域ぐるみで取り組む青少年健全育成の推進

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
市青少年健全育成会議・地区推進委員会の開催 (社会教育課)	1-(3)	70%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	3	<p>青少年育成会議は地域、学校、行政の関係者で組織しており、会議では地域の青少年を取り巻く現状課題、重点取組を情報共有している。今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から資料送付に代えたが、各地区の地区推進委員に対し、市重点取組「早寝早起き朝ご飯など基本的な生活習慣の啓発」「ゲーム障害やネット依存への対策」を明記したものを通知し、各種地区組織への周知が図られた。</p>	<p>①継続</p> <p>今後も地区推進組織と情報共有を図る。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	3												
サポート隊 (社会教育課)	1-(5)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	5	効率性(人員)	4	<p>地域で子供たちを守り育てる運動の一環として、1,063人のサポート隊員によって登下校時の見守りと声かけを地域全体で行なった。不審者情報は年間5件と例年同程度の数で推移しており、事件等につながった事例はなく、活動の効果は高い。</p>	<p>①継続</p> <p>今後も地域との連携を続け、サポート隊を中心とした地域で子供を守り育てる運動を継続し、子供の安全を守る。</p>
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	5												
効率性(人員)	4												
こども110番の家 (社会教育課)	1-(5)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>市内小学校PTAが中心となって、学区内の商店等に参加の継続・新規登録を確認し、今年度も478件の登録をいただいている。 また、「こども110番の家」のプレートや旗を目印としていつでも子どもたちが助けを求められる体制をとっているが、子供が駆け込んだという事例は現在報告されていない。</p>	<p>①継続</p> <p>「こども110番の家」のプレートや旗は屋外へ設置するため1年で劣化してしまう。特にプレートは1枚単価にコストがかかるため、ポスターやチラシ等への変更を検討する。</p>
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												
声かけ運動 (社会教育課)	1-(5)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	3	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>県が実施している「地域の青少年声掛け運動」に協調し、参加者を募っている。今年度新たに111人の新規参加者を迎え、累計登録者は、5,099人となった。市独自のサポート隊とほぼ同じメンバーとなっているので年間を通して運動を行っている。</p>	<p>①継続</p> <p>組織的な運動ではなく、個人的な活動のため、日々の活動を地域と共有し運動を盛り上げる取組を行う。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	3												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向									
青少年補導員活動 (社会教育課)	1-(5)	70%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からみなど夏祭りなどイベントでの活動はできなかったが、夏冬の県下一斉補導活動は、地域からの参加者を少なくするなど密を避ける対策や時間を短縮するなどして実施した。</p> <p>また、各青少年補導員については、それぞれ地域において補導活動を実践することができた。</p>	④縮小	<p>現状、青少年のネット等でのつながりが主となり、街頭での補導活動につながるような案件が減っている。そのようなことから、補導員としてのあり方や活動を再検討する。今後も青少年の実情にあった活動を行う。</p>
事業の妥当性	4													
効果性	4													
効率性(コスト)	3													
効率性(人員)	3													
情報モラル学習の推進 (学校教育課)	1-(5)	90%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>5</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	5	<p>外部講師(浜松学院大学短期大学部長今井教授)を招集しての児童生徒・保護者に対する講演を5校(小学校4校、中学校1校)で行った。さらに、ネットパトロールを依頼している会社(NPO法人e-lunch)による講演は全校で行った。休業期間あけに行った、児童・生徒を対象にした生活・ネットアンケートの結果を受けて、教職員にも情報モラル学習の意識が高まっている。</p>	③拡大	<p>スクラムスクール運営協議会で取り組んでいる「ネット依存やゲーム障害」から子供を守る活動を推進する取組を今後も実行する。ICT支援員の勤務日数の増加(2週間に1回から毎週支援へ)により効果を上げる。</p>
事業の妥当性	5													
効果性	5													
効率性(コスト)	3													
効率性(人員)	5													
「スクラム御前崎の集い」の開催 (社会教育課)	1-(3)	-	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>-</td> </tr> </table>	事業の妥当性	3	効果性	-	効率性(コスト)	-	効率性(人員)	-	<p>前年度から、スクラム運営協議会との共催をし、学校家庭地域行政が連携し、地域で子供を守り育てるための意識付けを行っている。</p> <p>また、スクラム運営協議会の重点取組であるゲーム障害・ネット依存への意識啓発と対策のため、東北大学瀧靖之教授を招き「ゲーム障害・ネット依存と脳科学の関係性に関する講演会」、当市で推進している青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」の活動報告を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため来年度へ延期し開催することとした。</p>	①継続	<p>「スクラム御前崎の集い」の開催は来年度へ延期となったが、スクラム運営協議会での重点取組であるゲーム障害・ネット依存に対する取組を、青少年健全育成の観点からも連携し取り組む。</p>
事業の妥当性	3													
効果性	-													
効率性(コスト)	-													
効率性(人員)	-													

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
成人式の開催 (社会教育課)	-	80%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	3	<p>今年度対象となる新成人は、398名となっている。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、浜岡・御前崎地区で分散開催を予定していたが、全国的な感染拡大に伴い式典を中止した。新成人を祝うイベントとして、新成人へのお祝い動画の配信、市内8か所へのフォトスポットの設置、新成人をSNSで募集しウェブ上でウェブフォトブックの公開へ変更した。実績として、式典予定会場へは226人来場した。</p>	①継続 今後の成人式式典について、成人者を取り巻く環境の変化に注視しつつ、行政(学校)及び地域等との関わり方について常に検証見直しを実施する。
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	3												
青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」 (社会教育課)	1-(2)	90%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	5	効率性(人員)	3	<p>今年度は小中学生の部49名、高校生以上の部12名で活動を実施した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小中学生の部は午前、午後の2部構成に変更し、1回あたりの参加人数を減らし、密を回避する取り組みを行った。</p> <p>結果、静岡県青少年指導者級別認定者として4名が資格取得見込みである。</p>	③拡大 通年の参加者に行動面での変化が見え始めていることや保護者からの事業としての信頼、興味を獲得してきているため、今後更なる需要の高まりが期待される。キャンプの実施方式の変更など、多くの参加者を受け入れる体制の検討をし、今後も地域資源を活かした事業により人材育成を進める。
事業の妥当性	5												
効果性	5												
効率性(コスト)	5												
効率性(人員)	3												
親子工作教室 (社会教育課)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	5	効率性(人員)	4	<p>20家族50名の小学生親子の参加があった。今年度で37回目を迎えた歴史ある教室であり、木のぬくもりを親子で体験できる貴重な場となっている。</p> <p>また、市内木材業者から資材の提供を受け、地元大工業者12名に指導者として全面協力していただいている。毎年参加している親子もいるが、親子の交流促進、地域の方が指導する中で交流が生まれ、年々参加者も増加傾向にある。</p>	①継続 平成30年度、令和元年度は学校教育課の「灯台村塾」と連携し実施していたが、今年度から市が実施する学びの場をまとめた冊子「生涯学習ガイドブック」へ掲載し、広く周知するとともに、学びの循環の一つであることを意識し、今後も事業を継続する。
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	5												
効率性(人員)	4												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
家庭教育支援員の配置 (社会教育課)	4-(2)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>家庭教育支援員は、幼稚園教諭や保育士OBを中心に7名委嘱し、家庭教育に資する事業を企画実施している。平成30年度からは、主に共働き世帯への支援の場として「だれでも食堂もぐもぐ」を開催し、民間団体「加多世」「マツイ学園」、今年度新たに「ありがとう」が主体となり開催。また、前年度からは、子育て家庭(親)への支援・相談の機会(場)づくりとなるよう、親子対象に「あそび塾」を開催し、新型コロナウイルス感染拡大防止により定員制限をしている「子育て支援センター」などに替わる場として利用されている。</p> <p>両活動へ家庭教育支援員が参画することで、親同士の交流や、家庭教育支援員への相談の機会が増えている。</p>	<p>①継続</p> <p>もぐもぐについては、今後も実施団体が増えるよう取組の周知等を実施するとともに、活用しやすい制度にするため補助金制度を創設したい。家庭教育に関する課題やニーズを検証し取組を見直し実施する。また、新たな支援員を確保するための取組を検討する。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												
家庭教育学級への支援 (社会教育課)	4-(2)	70%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>支援金から補助金へ、今年度から制度を変更した。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策により幼保こども園、市内小中学校の活動が縮小しているが、4学級が開設している。各学級では親子活動など学習活動の講師謝礼金や材料費として補助金を充て活動をしている。</p>	<p>①継続</p> <p>各園、学校が補助金を活用し、学習活動を継続的に推進できるよう支援する。 なお、充実した学習活動となるよう、各学級の活動内容を情報交換できるような取組を検討する。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	3												
効率性(人員)	3												
家庭教育支援の推進 (学校教育課)	4-(2)	50%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>スクラムスクール運営協議会で「早寝・早起き・朝ごはん」を推進してきたが、学校教育が家庭教育力の向上を図ることは困難な部分が多く、家庭に対する呼びかけが主となった。今年度は、「ゲーム障害・ネット依存」の問題を学校・保護者・地域の共通の問題として取り組んだ。今井昌彦教授の講演を実施できた学校では、保護者が危機感を持つよい機会となった。</p>	<p>⑤転換</p> <p>コミュニティスクールの指定を学校単位に変更することにより、学校の課題を保護者や地域と共有しやすくする。また、PTA活動をスクラムスクール運営協議会とリンクさせ、家庭教育力の向上に主体性を持たせられるような体制を整備する。</p>
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
アプローチ・スタートアップブックの活用 (学校教育課)	2-(2)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>5</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	5	園から就学へ向けての支援を丁寧に行い、子供や保護者の安心につながる働きかけを充実させた。また、今年度のパンフレットは、子供の様子を写真で入れるなど修正を加え、作成した。年度内に各小学校の入学説明会に向き、説明しながら配付した。また、小学校1年担任の先生方とスタートカリキュラムについてのミニ研修会を開き、年度当初の指導について一緒に考えた。	①継続 小学校職員の各校における研修にも出向くなどしてスタートカリキュラムについて共通理解を図る。 就学支援にかかる子供が増加傾向にある。子供が安心して学習できる場を保護者がよく考え選べるよう、発達相談などにも同席し、学校についての質問や学校見学の希望について丁寧に対応する。
事業の妥当性	5												
効果性	5												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	5												
スクラムグッドマナー運動の推進 (学校教育課・社会教育課)	1-(1)	80%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	各・学校では、毎月10日の挨拶運動「スクラムグッドマナー運動」を工夫し実施した。中学生が啓発ポスターの掲示を地元事業所へ依頼し、広報活動をしたり、中部電力社員の協力を得るなどより活発になってきている。 運動の啓発ツールとしての、スクラムグッドマナーTシャツは、今年度の販売数は70枚と前年度より減少しているが、社会教育委員やスポーツ委員をはじめとした地区の委員や、学校などの教諭や一般市民が購入し、地域での啓発の一助となり、活動での着用も多くあり、スクラムグッドマナーTシャツが本運動推進の啓発ツールとして地域に根付いてきた。	①継続 地域でも子供たちが挨拶できる環境づくりを推進し、今後も各場面で挨拶を意欲的に取り組めるよう働きかける。 各場面でスクラムグッドマナーTシャツを着用しての活動が増え、Tシャツが啓発ツールとして根付いてきたことから、趣旨説明とTシャツ着用による意識啓発を継続する。
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												

5-2-1 御前崎を愛し知・徳・体の調和のとれた生き抜くための資質・能力の育成

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
市独自の学力調査の実施 (学校教育課)	1-(3) 2-(1)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	7月に小学校2年生から5年生、中学校1年生・2年生を対象に学力調査及び質問紙調査を実施した。静岡大学教育学部村山功教授の力を借り、結果を分析し市全体・各学校・児童の課題を明らかにし、指導の改善に生かすことができた。また、保護者にも早い段階から学習状況について知らせることができ、家庭学習や生活習慣について見直す機会となっている。	①継続 子供たちの現状や御前崎市教育の今を客観的に知る上では重要なものであり、各学年の経年比較もよい資料となっている。来年度も今年度同様に実施し、平均正答率を各学年とも1%以上高くなるように支援する。
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												
全国体力運動能力・運動習慣等調査の分析と活用 (学校教育課)	1-(1)	-	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>-</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	-	効率性(コスト)	-	効率性(人員)	-	今年度は、国の決定により実施しなかったため、分析と活用には至らなかった。	①継続 学力と同時に子供たちの体力の状況等についても分析・活用し、心身ともに健やかな成長の支援につなげる。
事業の妥当性	5												
効果性	-												
効率性(コスト)	-												
効率性(人員)	-												
スクラム研究会 (学校教育課)	2-(1)	75%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	今年度は、コロナウイルス感染症拡大に伴い、地域の教職員の授業参観は人数を限定して行った。授業後の研修会では、ZOOMを活用し、各校でも参加できる状況を設定し行った。新学習指導要領の実施に伴い、新たな授業観を養っていく上では重要な機会であった。	①継続 今年度から小学校で、来年度は中学校で新学習指導要領の全面実施となる。そのため、全職員が新学習指導要領の目指す教育観を共有する場を設けることが重要である。具体的には、今年度実施できなかった大学教授による師範授業及び講話を予定している。
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												
スクラムゼミナール (学校教育課)	2-(1) 4-(3)	-	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>-</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	-	効率性(コスト)	-	効率性(人員)	-	今年度は、コロナウイルス感染症拡大に伴い、上智大学奈須教授から、授業内容及び年間授業計画に対するアドバイスを受けることが多くの学校ではできなかった。試行として、リモートによる指導が1回行われた。	①継続 年々、各校の奈須教授への依頼内容が変化し、各校の実態やニーズに合った研修の機会となっている。今年度は実施できなかった分も多いため、来年度以降、拡大していき、さらに各校の授業改善を進める。
事業の妥当性	5												
効果性	-												
効率性(コスト)	-												
効率性(人員)	-												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
教職員対象各 研修会 (学校教育課)	2-(1)	90%	<table border="1"> <tr> <td>事業の 妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>5</td> </tr> </table>	事業の 妥当性	5	効果性	5	効率性 (コスト)	4	効率性 (人員)	5	<p>教職員の分掌等に応じた各種研修会を年間計画に位置付け、実施した。授業改善推進委員会では、新学習指導要領の実施に向けて、御前崎市内の児童生徒の良さや課題を分析し、各校の研修へ役立てた。ICT推進委員会では、来年度からスタートするGIGAスクール構想の実現に向けて、小中学校連携した研修を進めた。それぞれの立場の市内の教員が情報交換できる機会でもあり、共有された研修内容を各校で広め、深化させることで、「スクラム御前崎」の浸透が図られるように実施してきた。</p>	<p>①継続</p> <p>教員等育成指標に基づき、新学習指導要領の実施に向け、経験及び職務別に求められる資質能力の育成が図れるようさらに内容を充実させる。各種研修会実施における目標を明確にし、目標を達成するための手立てや達成状況を学校教育課内で共有する。</p>
事業の 妥当性	5												
効果性	5												
効率性 (コスト)	4												
効率性 (人員)	5												
外国語指導助手(ALT)及び 英語活動指導員の配置 (学校教育課)	4-(3)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の 妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の 妥当性	5	効果性	5	効率性 (コスト)	4	効率性 (人員)	3	<p>ALT2人と英語活動指導員、英語専科をそれぞれ1人ずつ小中学校に派遣し、令和2年度完全実施となる小学校外国語活動・外国語への対応を図った。今年度は英語専科がもう1人増える予定だったが付かなかったため、小学校への配置を優先し、浜中への配置が少なくなってしまった。ALTと英語活動指導員、英語専科がいることで、子供たちが生の英語に触れ、楽しく学習できている。</p>	<p>①継続</p> <p>浜中94.5日と御中144日の配置の不平等さを解消するため、浜中120日、御中121日とする。今年度と同じ人数で各校を効率よく回れるように計画的に配置する。</p>
事業の 妥当性	5												
効果性	5												
効率性 (コスト)	4												
効率性 (人員)	3												
学校のICT環境の向上 (教育総務課)	4-(4) 4-(5)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の 妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の 妥当性	5	効果性	2	効率性 (コスト)	3	効率性 (人員)	3	<p>文部科学省が提唱するGIGAスクール構想実現のため、校内ネットワーク整備工事と端末購入を行った。</p> <p>浜岡中学校をモデル校と位置付け、ICT機器の導入を実施した。</p> <p>利用については「GIGAスクール構想御前崎市3年計画」、「御前崎市ICT教育3年計画」を策定し、それに基づいてICT機器の使用を推進していく。</p>	<p>③拡大</p> <p>1人1台端末が配架され、浜岡中学校をモデルとしたICT機器利用実績により、各校の導入を進める。</p>
事業の 妥当性	5												
効果性	2												
効率性 (コスト)	3												
効率性 (人員)	3												
ICT支援員の配置 (学校教育課)	4-(3)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の 妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の 妥当性	5	効果性	5	効率性 (コスト)	3	効率性 (人員)	3	<p>ICT支援員の全校配置となつてから3年目となる。各校職員が担当するICT推進委員の重点目標として、「ICT機器活用に関する環境整備」「プログラミング教育実施」を掲げて取り組んだ。また、一人一台PC導入に向けて、全面的なバックアップを支援員が行ったため、目標が達成できている。</p>	<p>③拡大</p> <p>GIGAスクール構想の一人一台PC導入に向けて、環境整備や校内研修、授業支援の充実を図っていく必要がある。専門家であるICT支援員の配置は必須となる。</p>
事業の 妥当性	5												
効果性	5												
効率性 (コスト)	3												
効率性 (人員)	3												

※GIGAスクール構想:一人1台端末と高速大容量の通信ネットワークの整備

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)	今後の方向								
エネルギー教育の推進 (学校教育課)	1-(2)	50%	<table border="1" data-bbox="491 667 655 1021"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table> <p data-bbox="676 640 1058 1093">小学校6年生が、浜岡原子力発電所の見学をし、原子力発電のしくみや安全対策の様子を中部電力職員から説明を受けた。また、12月からは一部の学校で、理科の授業で各発電のしくみを中電職員をゲストティーチャーに迎え学習した。コロナウイルス感染症拡大に伴い、計画通りに実施できないことがあった。</p>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p data-bbox="1158 640 1396 1093">電源立地市の市民としてエネルギーについて自ら考え判断する力を身につけるためにも継続する。</p> <p data-bbox="1066 846 1150 882">①継続</p>
事業の妥当性	4											
効果性	4											
効率性(コスト)	3											
効率性(人員)	3											
太陽光発電設備の整備とエネルギー教育への活用 (教育総務課)	1-(2)	100%	<table border="1" data-bbox="491 1120 655 1473"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table> <p data-bbox="676 1093 1058 1494">国のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業を利用して、今年度は、浜岡中学校、新学校給食センターに太陽光発電設備・蓄電池を設置し、各校への整備を終了した。給食センターの太陽光発電の仕組みは社会見学の機能を持つものとした。</p>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	5	効率性(人員)	3	<p data-bbox="1158 1093 1396 1494">ハード整備は終了したので、従来型のエネルギー教育に社会見学をプラスし、より実践的なエネルギー教育への転換を図る。</p> <p data-bbox="1066 1276 1150 1312">⑤転換</p>
事業の妥当性	4											
効果性	4											
効率性(コスト)	5											
効率性(人員)	3											

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向									
学校における 読書活動の推 進 (学校教育課)	1-(4)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の 妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の 妥当性	5	効果性	5	効率性 (コスト)	4	効率性 (人員)	4	学校図書館司書3人が担当する小中学校において、工夫した取組を行った。前年度と異なり浜中には月2回3人が揃って訪問をし、浜中との打ち合わせを行うようにした。学校図書館連絡会は新型コロナで年1回になってしまったが、前年度「読書県しずおか」で優秀実践校に選ばれた浜岡北小を会場に行うことで図書館経営について学ぶ場となった。また、各小中学校の職員で「本つなぎ」の動画をまおまおで配信し、市立図書館とも協力して読書推進に役立てた。	①継続	学校図書館連絡会や掲示板などを使って読書推進に関する情報を交換できるようにする。
事業の 妥当性	5													
効果性	5													
効率性 (コスト)	4													
効率性 (人員)	4													

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向									
市立図書館と学校図書館との連携 (図書館・学校教育課)	1-(4)	90%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>5</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	5	効率性(人員)	5	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、日程変更があったが、市立図書館から各学校へ出向き、今後の連携の取り方や「御前崎市子ども読書活動推進計画」の取組などについて相互に確認することができた。</p> <p>また、市立図書館と各学校が協力し学校職員による「本つなぎ御前崎版」の動画をまおまおで配信し読書推進に役立てた。</p> <p>さらに、相互連携の取組の一つとして団体貸出やテーマ貸出によって各学校の授業への支援を行うことができた。</p>	①継続	「子どもたちが本と親しむまち御前崎」を目指し、学校図書館連絡会や各学校との話し合いの場を通して、引き続き市立図書館と学校図書館相互の連携を図り、読書活動を推進する。
事業の妥当性	5													
効果性	4													
効率性(コスト)	5													
効率性(人員)	5													
小学生海洋体験活動 (社会教育課・学校教育課)	1-(2)	70%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>今年度は新型コロナウイルス感染防止対策によって海辺での体験活動を実施せず、教室等で海辺の安全教育や御前崎の海の特性についての学習講座を実施した。</p> <p>御前崎マリンスポーツクラブから講師を派遣し、地域資源である海で活動する際の注意点を学んだ。</p> <p>市内全小学校で実施し、地域特性の高い事業を実施できた。</p>	①継続	地域特性の高い事業として、市民に地域資源である海辺の環境に愛着を持てるような事業を今後も継続する。
事業の妥当性	5													
効果性	5													
効率性(コスト)	3													
効率性(人員)	3													
「しおかぜ先生」の配置 (学校教育課)	4-(1)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>不登校対策として、浜岡中学校に市費負担教員を2名配置した。</p> <p>浜岡中学校では、不登校が前年度に比べ2人減少した。特にお話の部屋に配置した教員によって、不登校傾向で教室に入れない生徒に対してきめ細かな個別支援ができるようになったため、全校生徒の欠席率が、前年度に比べて1.09%減少している。</p>	①継続	不登校の未然防止のために、学力向上に資する教員の配置を継続し、その効果を検証する。また、不登校の早期対応を充実させるために、校内適応指導教室への配置について今後も検証する。
事業の妥当性	5													
効果性	5													
効率性(コスト)	3													
効率性(人員)	3													
学習支援員等の配置 (学校教育課)	2-(1) 4-(1)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>5</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	5	効率性(人員)	5	<p>学校のニーズに合わせ、各校の支援員の数を調整した。入学当初の1年生や保健室への来室児童生徒へのきめ細かな対応が可能となり、学校の落ち着いた学習環境づくりにつながっている。各専門指導員は、それぞれの専門性を生かし、職員や児童生徒の指導・支援、ケース会議や各機関との連携等に力を発揮し、安定した学校運営を支えている。</p>	①継続	年々、通常学級における特別支援を要する児童生徒も増加傾向にあり、学習支援員の必要性が高まっている。各校の要望を聞き、より機能した活用になるような配置にする。
事業の妥当性	5													
効果性	5													
効率性(コスト)	5													
効率性(人員)	5													

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
巡回相談、教育相談 (学校教育課)	4-(1) 4-(2)	100%	事業の 妥当性	5	<p>巡回相談では園や各校のニーズに応じて効果的な相談ができた。もっと増やしてほしいという要望はあるが、予算の関係で年2回ずつが妥当と考える。教育相談は時期によって多い時と少ない時があったので、見直したい。また、前年度の反省を生かして、相談内容をできるだけ早く各園や学校に送ることで情報の共有ができ、効果を上げることができた。</p> <p>①継続</p> <p>今年度同様、来年度も園や学校が必要な時期に巡回相談ができるように希望調査を取って計画する。教育相談は今年度の実績から来年度の時期を見直し、よりニーズに応じられるようにする。</p>
			効果性	5	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	5	
就学支援委員会、個性伸長支援教育専門家チーム会議 (学校教育課)	4-(1)	100%	事業の 妥当性	5	<p>就学支援委員会の開催時期は県の専門調査への兼ね合いから今年度の時期で良いことが確認できた。しかし、情緒学級に勧められる際に、急に通院を進めて診断書を求めることがあり、病院から意見されることがあった。話し合いでは進路も踏まえて適切な判断がされた。専門家チーム会議は新型コロナで年1回になってしまったが、通級(発達)への就学について話し合えた。</p> <p>①継続</p> <p>年度初めのコーディネーター研が今年度はできなかったため、周知が難しかったので、来年度は年度初めに書類の作成の仕方などをしっかり周知する。また専門家チーム会議のメンバーを見直し、持続可能な方にする。</p>
			効果性	5	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	5	
適応指導教室「サンルーム」 (学校教育課)	4-(1)	100%	事業の 妥当性	5	<p>今年度は、前年度まで在籍していた児童生徒の多くが学校復帰を果たしたため、5名でのスタートとなった。3月末時点で、5名の児童生徒が学んでいる。週1回程度、チャレンジ登校を行ったり、復帰した児童生徒の支援を目的に学校支援を行ったりしている。</p> <p>①継続</p> <p>学校に通うことが難しい児童生徒の最後の砦として必要なため、学校との連携を密にし、不登校児童・生徒宅への家庭訪問等、アウトリーチも積極的に行う。</p>
			効果性	5	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	
いじめ問題対策連絡協議会 (学校教育課)	-	75%	事業の 妥当性	5	<p>いじめ防止対策推進法の規定に基づき、御前崎市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例を制定し、御前崎市いじめ問題対策連絡協議会が設置されている。</p> <p>警察・主任児童委員・小中学校生徒指導担当が委員を務め、協議が必要な際には、いじめの防止等に必要な事項を協議するようしたり、連携調整を図ったりしている。</p> <p>いじめ対策専門委員会も組織した。</p> <p>①継続</p> <p>必要に応じ、委員会が開催できるように常に準備する。</p>
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	

5-2-2 主体的な遊びを通して人として生きていく力の基礎の育成

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
自発的な遊びや体験を充実させる環境作り(学校教育課)	2-(2)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>自発的な遊びや体験を重視し、子供達が夢中になって遊び込めるような素材の選定や配置の工夫等、自発的な遊びを誘発させる園環境を整えるために各園工夫しながら継続的に取り組んでいる。</p>	<p>①継続</p> <p>「遊び込む子」を目指し、実態や発達に応じた環境やしかけについて研修を継続し、園や保育者の資質向上を図る。</p>
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												
園の読書環境の整備(学校教育課)	1-(4)	95%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	4	<p>職員による子供の発達や興味に合わせた毎日の絵本読み聞かせ、毎週の絵本貸し出しは各園で定着している。また子供達が常に絵本に触れられるような様々な環境の工夫も見られる。園だよりや講演会、保育参加会などで繰り返しスマホ育児の警鐘と家庭での絵本の読み聞かせの大切さを保護者へ発信しているが、家庭や保護者の読み聞かせに対する温度差を感じる。</p>	<p>①継続</p> <p>引き続き、毎日の絵本の読み聞かせや絵本に触れる環境整備の充実を図る。家庭への絵本の読み聞かせの啓発も繰り返し様々な形で行う。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	3												
効率性(人員)	4												
地域の教育力を生かした保育の推進(学校教育課)	2-(2)	60%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>新型コロナ感染対策により外部の人材を招くことが困難となった。「子供達の育ちのために必要な行事や活動であるかどうか」と行事や活動を改めて見直すきっかけとなり、感染対策への配慮や工夫をしながら取り組んだ。</p>	<p>①継続</p> <p>地域との密接な関係の中で子供の育ちや大切な経験を保障できるよう地域の材(人・モノ・こと)を生かし、工夫や配慮しながら取り組む。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
教諭・保育士 対象各種研修会 (学校教育課)	2-(1)	70%	事業の 妥当性	5	①継続 職員の資質能力をさらに組織として高めていけるよう、感染状況に応じながら、実技研や市内公開研修など推進する。リモートでの研修会が増えているため、園内のネット環境を検討する。
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	
新型コロナウイルス感染予防によって各種研修が中止となった。その分、各園の重点目標に向かった遊び込む子の姿の追及や子供観を共有するために公開保育やエピソード記録などで環境や遊びの充実や幼児理解、個に応じた援助やかかわりなど園内研修の充実に力を入れた。園の組織や体制により、研修とやり方にも工夫が見られてきている。					

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
地域子育て支援の充実 (こども未来課)	4-(2)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>5</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	5	学区を越えて利用可能な支援センターが増え、未就園の子供とその保護者が安心して利用できるような環境、人的整備がなされている。子育て支援研修を受講した職員の配置が充実し、有資格者と共に環境準備や支援に関わってくれている。コロナ禍の状況の中、感染症対策をきっちり行うことで親子の交流活動を実施することができた。	①継続 「にこにこランド」「みさきっこ」「さくらんぼ」は支援センターとして地域を限らず市内誰もが利用できるようにする。 北こども園の「たけのこひろば」においては園の子育て支援機能として、これまで同様の支援内容で継続して運営を行う。
事業の妥当性	5												
効果性	5												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	5												
個性伸長支援員の配置 (学校教育課)	4-(1)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	個別の支援を要する子が年々増加傾向にあり、対応についても複雑化してきている。各園3歳以上には支援員1名を配置できている。支援を要する子が1クラスに複数いる園もいくつかある。また2・3号認定園児の増加で、長時間利用児や乳児への支援が必要となってきた。今年度最終調査時点での待機児童数は17人で、保育士の確保とともに、支援員の配置拡充は喫緊の課題である。	①継続 引き続き保育士の確保とともに長時間保育での必要に応じた支援員や1～2歳児への支援員の配置を検討する。
事業の妥当性	5												
効果性	5												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
療育指導員による療育の推進と充実 (学校教育課・こども未来課)	4-(1)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	5	効率性(人員)	4	療育指導員を学校教育課とこども未来課の両課に配置し、連携を図りながら乳幼児の療育をすすめて充実させることができた。今年度は園訪問で園に出向く機会も増やし、先生方の相談や子供の実態把握にも協力できた。療育教室「ほっとケーキ」の参加人数(前年度30名・今年度42名)も増え、療育指導員の人材確保、スキルアップが今後必要となる。発達相談を希望する保護者も増えてきているので、発達検査ができる療育指導員を確保、また育成し対応していく必要がある。	①継続 早期療育に対する保護者への理解や啓発は引き続き丁寧な働きかけをする。療育指導員の園訪問や療育教室事業、相談事業を充実させ、園での支援の底上げに努める。
事業の妥当性	5												
効果性	5												
効率性(コスト)	5												
効率性(人員)	4												
園職員の確保 (学校教育課・総務課・こども未来課)	4-(5)	60%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	人材確保に向け、実習生の承諾を得て登録カードを作成した。採用試験に実技試験を導入したことで、保育者としての適性が把握できた。保育の無償化、預かり保育等、社会情勢の変化に伴い、長時間部や預かり保育、0～2歳児の乳幼児の入園希望が増加している。会計年度任用職員の高齢化、リーダー的立場の人材の不足、また精神面や保育の技術面などに支えが必要な職員等課題は大きい。	①継続 引き続き、人材確保に向け情報発信を積極的に行う。潜在保育士発掘の為の「保育仕事相談」なども考える。やりがいや働きやすさを感じられるような体制作りや処遇改善も必要であると考える。
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												

5-2-3 安全で充実した教育環境の整備

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向									
安全安心な教育環境の向上 (教育総務課)	4-(4)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性 (コスト)	5	効率性 (人員)	4	<p>使用率の高い特別教室のエアコン整備を行うことができた。 長寿命化計画に沿って、優先順位の高い御前崎中学校から改修を開始した。5小学校については設備改修の調査を実施した。</p>	⑤転換	<p>クラスの増減に応じた整備を行い、維持管理に努める。併せて長寿命化計画に沿って、各校の修繕を実施する。</p>
事業の妥当性	5													
効果性	4													
効率性 (コスト)	5													
効率性 (人員)	4													
浜岡中学校校舎の改築 (教育総務課)	4-(4)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性 (コスト)	4	効率性 (人員)	3	<p>建築後62年が経過し、老朽化が著しい浜岡中学校の校舎改築工事を進め、2月末校舎及び自転車置き場の整備が完了した。 引き続き、グラウンド整備を含めた外構工事を進め、令和3年7月末の完成を目指す。</p>	①継続	<p>令和3年7月の引渡しに向けて、引続き工事を進める。</p>
事業の妥当性	5													
効果性	5													
効率性 (コスト)	4													
効率性 (人員)	3													
新給食センターの建設 (教育総務課)	4-(4)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性 (コスト)	3	効率性 (人員)	3	<p>御前崎、浜岡両学校給食センターを統合した新学校給食センター建設を進め令和3年9月供用開始を目指す。 今年度建築工事に着手した。</p>	①継続	<p>ランニングコストを縮減できる施設の実現を目指す。</p>
事業の妥当性	5													
効果性	5													
効率性 (コスト)	3													
効率性 (人員)	3													

5-2-4 安全で魅力ある学校給食の提供と食育・地産地消の推進

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
食育指導の推進 (学校給食共同調理場)	1-(3)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>食育指導の推進では、小学校からの依頼によって、児童・生徒を対象とした栄養講座を行った。</p> <p>全小学校の学級活動や家庭科、総合的な学習で講師として授業に参画、また給食時間に訪問し食べる姿勢、マナー等の指導を行った。更に、給食センター施設見学を通して、子供たちに感謝の気持ちを持たせ、残食の減少・食物の好き嫌いを減らすなど『食』の意識を高めた。</p>	<p>①継続</p> <p>『食』に対する関心を子供たちにもっと深く持ってもらうため、今後も食育指導を通して推進を図る。</p> <p>また、学校給食を『生きた教材』として活用し、郷土食や行事食、地場産物の活用を通して食への関心を深めていくよう努める。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												
地産地消の推進 (学校給食共同調理場)	-	80%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>給食食材を購入するにあたり、地元産の食材を多く活用するよう努めた。</p> <p>コスト的には、他県産のものより割高の傾向であるが、予算の範囲内で優先的に活用した。</p> <p>地産地消率では、『第2次御前崎市総合計画』目標値(令和2年)県内産60%、市内産28%に対し、県内産22.8%、市内産29.3%という結果だった。</p>	<p>①継続</p> <p>今後も引続き、『第2次御前崎市総合計画』最終目標値(令和7年)県内産63%、市内産31%に向け、地産地消の推進に努める。</p> <p>また、コスト等の問題があるが可能な限り県内産・市内産の食材を活用する。</p>
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	3												
効率性(人員)	3												
安心安全、おいしい給食の提供 (学校給食共同調理場)	-	90%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>安心安全な給食の提供を確実にを行うため、毎日栄養教諭が委託業者と打合せし、衛生管理、調理・配送等の作業工程に対し指導を行った。</p> <p>また、センター職員・調理員に対し毎月2回の保菌検査、冬季においてノロウイルス検査を実施して衛生管理に努めた。</p> <p>異物混入防止のため、食材の納入から調理・配送に至るまで、安全管理の徹底を図ったが、2月末現在両センターで20件異物混入の報告があった。</p>	<p>①継続</p> <p>新センターにおいても引き続き、栄養教諭と委託業者との打合せを行い安心安全な給食を提供する。</p> <p>また、異物混入防止を図るため、引き続き安全管理の指導を行っていく。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
アレルギー対応 (学校給食共同調理場)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>2</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	2	<p>食物アレルギーの症状を訴える子供の数(前年度対比2.2%増)及び品目数(同15.0%増)が、微増ではあるが増加の傾向にある。</p> <p>アレルギーの対応における事故防止のチェック体制として、センター所長、園長、校長が行う検食時に当日のアレルギー食の確認を行った。更に、食物アレルギー対応カードを用いて、栄養教諭、調理員、配送、園・学校の受取担当者及び担任の6段階によるチェック体制によりアレルギー事故防止に努めた。</p>	<p>食物アレルギーの症状を訴える子供の数及び品目数が、年々増加傾向にある。</p> <p>令和3年度から「御前崎市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を策定する予定であり、アレルギーによる事故防止に更に努める。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	2												
給食費未納者の解消 (教育総務課)	-	80%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	3	効率性(コスト)	2	効率性(人員)	3	<p>令和2年4月から学校給食費の市民無償化を実施した。給食費の徴収は主に御前崎中学校の牧之原市在住生徒分となったため、徴収事務を学校給食共同調理場へ移管。令和2年度分収納率は100%となり、未納者はいなかった。</p> <p>過年度分は、1,336,760円のうち、393,057円収納し、1名が完納した。収納率は29.4%だったが、前年納入実績の無い保護者が分納を開始した。</p> <p>市外、県外へ転出した保護者への督促効果は低い状況が続いている。</p>	<p>引き続き現年度分の未納防止と、過年度分の督促を実施し、未納解消を目指す。</p>
事業の妥当性	5												
効果性	3												
効率性(コスト)	2												
効率性(人員)	3												

5-3-1 楽しく学び積極的に参加できる生涯学習の推進

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
社会教育学級活動への支援 (社会教育課)	3-(1)	70%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	市内で活動する自主的な学習団体22学級が開設している。外部講師への講師謝礼金や、学習活動のための材料費などへ支援をし、充実した学習活動の一助となっている。前年度までは支援金として市からの直接給付で実施していたが、立替払いが発生するなど会計上問題となることが複数あったため、今年度より新規に補助金要綱を作成し業務の適正化を図り、学習団体の運営が効率的に行われている。	⑤転換 現在の資金援助の方式を支援金から補助金形式に変更し、書類提出における時期の統一、提出書類における複雑さの改善、支払方法の説明にも認識の違いが生じないようわかりやすい説明を実施する。
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												
生涯学習講座の企画運営と情報発信 (社会教育課)	3-(1)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	社会教育課では、12講座を市民講座として企画・運営した。参加者数も定員に達する講座があり、多くの市民が参加している。現在は、高齢・壮年層向けの講座が多く、青年向けの講座の企画運営をしていく必要がある。	①継続 市民の生涯学習への参加意欲の高揚を図るため、どの世代にも伝わる情報発信を行うとともに、若年層向けやターゲットを絞った講座の企画運営を行う。
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												
文化・芸術にふれる機会の提供 (社会教育課)	3-(1)	50%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	3	効果性	3	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	4	清川泰次芸術館においては、市民ギャラリー、清川泰次芸術館開館25周年記念洋画展「御前崎市名誉市民「川口栄」とアリコ・ルージュ」を開催し集客に努めた。結果、昨年より217名入館者が増加し、開館が土日となった平成17年度以降で最も多くの来場者を記録した。丸尾記念館においては、伝統文化親子教室等、積極的な活用を図ることができた。	①継続 清川芸術館、丸尾記念館共に広く市民に関心を持ってもらえるよう運営方針を検討する。清川泰次芸術館については、来年度開催する企画展の集客状況によって今後の継続や縮小等について検討する。
事業の妥当性	3												
効果性	3												
効率性(コスト)	3												
効率性(人員)	4												
図書館での展示や講演会など文化事業の開催 (図書館)	-	90%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	4	新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、事業の開催時期が遅れたが、展示ギャラリーや視聴覚室を利用した様々な展示を行うことができた。また規模は縮小となったが、絵本作家による文化講演会や浜岡吹奏楽団ミニコンサート、舞台俳優による出張劇場などを開催し、市民に対して文化・芸術に触れる機会を提供することができた。	①継続 市民の交流の場を目指し、今後もウェブサイトやSNS等を通じて市内外へ周知し、市民が興味を持つ文化事業を開催する。
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	3												
効率性(人員)	4												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向
市文化祭の開催 (社会教育課) 代替:文化協会誌の発刊、 芸能発表会の開催	3-(1)	60%	事業の 妥当性	3	①継続 文化祭芸能部門・ 展示部門共に、一般 参加者が継続して参 加してもらえるよう 体制を作り、市内の 文化交流をさらに図 れるように努める。
			効果性	2	
			効率性 (コスト)	2	
			効率性 (人員)	2	
伝統文化親子 教室 (社会教育課)	-	100%	事業の 妥当性	4	①継続 伝統文化親子教室 事業参加の児童・生 徒を増やすため、更 なる周知を行う。
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	4	
			効率性 (人員)	4	
映画上映 (社会教育課)	-	100%	事業の 妥当性	4	①継続 優れた映画の鑑賞の機会を提 供するため、振興公社と連携して 準備した。今年度は故石原裕次 郎等人気俳優が出演する作品を 含め、日本映画の名作4作品を 上映した。
			効果性	4	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	
「文芸おまえざ き第17号」の 発刊 (社会教育課)	-	100%	事業の 妥当性	4	①継続 市民の方の創作の 発表の場となっている が、投稿者が固定 化されている。今後 は新規投稿者を増 加させるためにも文 芸おまえざきの周知 を図る。
			効果性	3	
			効率性 (コスト)	3	
			効率性 (人員)	3	

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
御前崎市振興 公社との連携 (社会教育課)	3-(1)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の 妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の 妥当性	4	効果性	4	効率性 (コスト)	4	効率性 (人員)	3	指定管理者による絵画教室や書き方教室、絵手紙講座、静岡県グランシップ事業「0歳からのふくみみコンサート」など様々な文化芸術に親しむ機会を提供し、多くの市民の参加があり、文化振興を図ることができた。	①継続 振興公社と連携して引き続き、市民のスポーツ振興及び芸術文化の向上へ寄与するようにサポートする。
事業の 妥当性	4												
効果性	4												
効率性 (コスト)	4												
効率性 (人員)	3												
市民会館・文化会館等の整備・改修 (社会教育課)	4-(4)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の 妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の 妥当性	5	効果性	4	効率性 (コスト)	3	効率性 (人員)	3	各文化施設の施設・機器とも老朽化してきており、予算の範囲内で修繕工事を実施している。また、今年度は文化施設の劣化状況調査を実施し、各施設の状況を把握するとともに、修繕計画策定の基礎資料収集を行った。	①継続 来年度は、文化施設の中長期計画策定業務委託を実施して、今後計画的に修繕工事を実施する。
事業の 妥当性	5												
効果性	4												
効率性 (コスト)	3												
効率性 (人員)	3												
体育施設の整備・改修 (社会教育課)	4-(4)	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の 妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の 妥当性	5	効果性	4	効率性 (コスト)	3	効率性 (人員)	3	各体育施設の施設・機器とも老朽化が進み、更新及び修繕が必要な箇所が増加している。計画的に予算の範囲内で修繕工事を実施している状況である。	①継続 施設利用者が安心して利用できる施設として、補助金の確保と併せ、計画的な更新・修繕工事の実施に努める。 また、費用対効果を検証しながら施設の継続、統合についても検討する。
事業の 妥当性	5												
効果性	4												
効率性 (コスト)	3												
効率性 (人員)	3												

5-3-2 郷土の誇りである文化財の保存と活用

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
アカウミガメの保護活動 (社会教育課)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>今年度の上陸頭数は82頭と前年度と同じであるが、産卵頭数は35頭と10頭増加しており、結果、1,186匹の子ガメのふ化が確認できた。しかし産卵地である海岸環境は年々悪化している。主な産卵地である下岬海岸については、産卵地となる砂浜の流木撤去を行い、環境の保護に努めることができた。</p>	<p>①継続</p> <p>今後も御前崎のウミガメとその産卵地を保護していくためにも、流木及び漂着ごみの撤去など御前崎の海岸で産卵された卵のふ化率を増加させる取組をする。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	3												
効率性(人員)	3												
白羽地区の風蝕礫産地保護 (社会教育課)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>白羽の風蝕礫産地の指定地内に位置する万葉の歌碑周辺の駐車場や、北側の市道に隣接する箇所の除草を実施した。これによって、自動車や歩行者等が通行しやすくなるとともに、指定地の景観についても改善された。</p>	<p>①継続</p> <p>指定地周辺に太陽光発電施設の建設が増え、指定当時の環境を維持することが困難になってきている。平成30年度に調査を実施した結果、多くの風蝕礫が所在していることが判明したことから、保存活用計画を策定して、今後も風蝕礫産地の保存と活用を図る。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	3												
効率性(人員)	3												
御前崎灯台の国登録文化財登録に向けての調査 (社会教育課)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	3	<p>御前崎灯台を国登録文化財へ登録するための意見具申の資料を作成することを目的として、御前崎灯台の文化財調査を実施した。</p>	<p>⑤転換</p> <p>国登録文化財に向けて、国に対して意見具申を行う。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	3												
文化財等の整理・保存事業 (社会教育課)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>前年度で埋蔵文化財の整理が一段落ついたことから、今年度は古文書や史料などの整理・保存を1名の会計年度任用職員を雇用して、行った。 古文書や史料の整理については、主に浜岡町史編さんなどで収集及び撮影した写真の整理を実施した。</p>	<p>①継続</p> <p>今後も継続して浜岡町史編さん事業などで収集及び撮影した写真や古文書などの史料を整理する。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	3												
効率性(人員)	3												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
歴史講演会・市文化財講座の開催 (社会教育課)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>各地区の指定文化財や埋蔵文化財について学ぶことを目的として佐倉地区センターとの共催で全2回講座で開催した。第1回目の講演会は33名、第2回目の文化財めぐりには32名の参加があった。</p> <p>歴史講演会は、静岡古城研究会名誉会長の水野茂氏による「高天神の戦いの真相に迫る～御前崎市の山城から～」を演題とした講演会を開催し、117名の参加があった。</p>	<p>文化財講座については、御前崎市内の各地ごとに毎年開催していることから、今後も生涯学習講座の一環として、地区センターと共催事業として継続して実施する。</p> <p>①継続</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												
埋蔵文化財出張授業・出土資料貸出 (社会教育課)	-	-	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>-</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	-	効率性(コスト)	-	効率性(人員)	-	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の一環、及び小中学校の授業日数が減っている関係で、埋蔵文化財出張授業の依頼がなく、開催できなかった。</p>	<p>多くの学校等から依頼が来るように、今後も、小中学校や地区センター等に情報提供を行う。</p> <p>①継続</p>
事業の妥当性	4												
効果性	-												
効率性(コスト)	-												
効率性(人員)	-												
「文化財年報」の作成 (社会教育課)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>前年度に開催した事業内容をまとめ、記録保存を図るとともに、ウェブサイトに掲載してデジタル配信を行い、活用を図っている。</p>	<p>文化財保護事業は、年度ごとに行っている業務内容が異なることから、今後も文化財年報の作成を継続して行う。</p> <p>①継続</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	3												
効率性(人員)	3												

5-3-3 市民とともに考えとともに歩む図書館づくり

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
市立図書館の充実した資料収集 (図書館)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>市民の関心や希望に応えるよう図書館の選書方針に従い図書資料を選書することができた。</p> <p>また、資料の充実に努めるとともに、資料のリクエストにも必要かどうかを見極めながら、可能な限り応えられるように努めた結果、リクエスト件数の98%に対して応えることができた。</p>	<p>①継続</p> <p>生涯学習の知の拠点として、市民が求める資料の収集に努め、詳細な購入計画を立て、計画的に購入を進める。</p> <p>今後、電子書籍の導入を検討する。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	3												
効率性(人員)	3												
読み聞かせなどのボランティアとの協働 (図書館)	1-(4)	90%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>5</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	5	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	5	<p>読み聞かせボランティアグループの技術向上のため、県子ども読書アドバイザー(3名)を講師として研修会を開催した結果、参加者全体のレベルアップに繋がった。</p> <p>また、図書館内での読み聞かせボランティアによる毎月第1土曜日の「土曜おはなし会」は、コロナの影響により開催が約3ヶ月遅れたが感染症対策を施しながら再開することができた。</p>	<p>①継続</p> <p>県子ども読書アドバイザーの協力のもと、園や学校などにおける読書活動推進のため、先生たちのための講座を開催する。</p> <p>今後、読み聞かせや図書館イベントなどへの高校生ボランティアの参加も呼び掛ける。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	5												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	5												

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向									
子どものための読書環境の整備 (図書館)	1-(4)	90%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	5	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、「第2次御前崎市子ども読書活動推進計画」における取組事項への取り掛かりが遅れたが、計画に基づき園や学校・地域・家庭と市立図書館が連携し、園への読み聞かせや学校・園への巡回貸出、ハローブック事業への支援など様々な形で本に親しむ環境づくりに努めた。</p>	①継続	「第2次御前崎市子ども読書活動推進計画」に基づき、読書習慣の基礎となる乳幼児期から高校生までの読書活動を支援する取組を継続する。
事業の妥当性	5													
効果性	5													
効率性(コスト)	4													
効率性(人員)	4													
問題解決に対する情報提供などの支援 (図書館)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>辞書や事典などの参考図書の充実によって、利用者の研究・調査に役立てることができた。 また、利用者からの54件(4月～12月)の相談に対して、的確かつ親切丁寧なレファレンスサービスが実施できた。</p>	①継続	利用者が求める様々な問題解決に対する情報提供については的確な支援が求められる。引き続き職員のレファレンス力向上に繋がる研修に積極的に参加し、その研修内容を職員間で共有し職員全体のレベルアップを図る。
事業の妥当性	4													
効果性	4													
効率性(コスト)	3													
効率性(人員)	3													

※レファレンスサービス:利用者の相談に応じ、必要とする資料や情報を提供すること

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
電子情報の利用促進 (図書館)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	3	効率性(人員)	3	<p>ウェブサイトやSNSなどを活用し、イベントや展示、新刊図書などの情報発信・情報提供を積極的に行うことができた。</p> <p>また、新聞記事のデータベースについては、利用者に対して掲示版やデジタルサイネージなどで周知し利活用を呼び掛けた。</p>	<p>①継続</p> <p>引き続き、職員間の情報共有を行い、積極的かつスピーディーに利用者に情報発信・情報提供する。</p> <p>また、様々な発信媒体を利用し、ウェブサイトやデータベースサービスの利活用を促進する。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	3												
効率性(人員)	3												
図書館サービスとしてのレクリエーション (図書館)	-	-	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>-</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	-	効率性(コスト)	-	効率性(人員)	-	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、視聴覚室でのレクリエーション(ボードゲームなど)を計画していたが、密になることから実施できなかった。</p>	<p>①継続</p> <p>図書館利用率向上に必要な取組の一つであるため、今後、内容を精査し、感染防止策を万全にした上でのレクリエーションが可能かどうか判断し、実施する。</p>
事業の妥当性	4												
効果性	-												
効率性(コスト)	-												
効率性(人員)	-												

※デジタルサイネージ:映像や文字を表示する電子掲示板

3-6-1 生涯を通じた体づくり

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向		
軽スポーツ教室・大会の開催 (社会教育課)	3-(1)	100%	事業の 妥当性	4	スポーツ推進委員の指導によって、ソフトバレー教室・大会、デカスポテニス教室・大会等を開催した。ソフトバレー教室・大会等人気が高い事業については定員に近い参加者が集まった。また新規にフーバ教室を実施し、新たなスポーツ教室参加者の発掘を目指した結果、新規参加者を含む定員に近い参加者が集まった。	①継続	市民に人気のあるスポーツは継続し、参加者数が伸び悩む種目については新規スポーツとの入れ替えを検討する。スポーツ推進委員の自主的な教室運営についても検討していくことで人員の効率性を改善する。
効果性	4						
効率性 (コスト)	4						
効率性 (人員)	3						
マリンスポーツフェスタの開催 (社会教育課)	3-(1)	-	事業の 妥当性	5	例年、御前崎港マリーナにおいて、牧之原市と共催事業として実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点のため、中止となった。	①継続	御前崎市の地域特性を活かしたマリンスポーツ活動のPRのため、今後も継続して実施する。
効果性	-						
効率性 (コスト)	-						
効率性 (人員)	-						

事業	重点取組	執行度	点 検 ・ (評 価)		今後の方向								
静岡県市町対抗駅伝への参加 (社会教育課)	-	100%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>4</td> </tr> </table>	事業の妥当性	5	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	4	<p>今年度は大会における市の部20位以内を目標に設定し取り組んだ。結果は市の部12位と目標を大きく上回り、過去最高成績となった。記録タイムも前回より6分16秒縮まり市の部の「敢闘賞」を2年連続で受賞した。駅伝チームの活躍は新聞等のメディアにも多く取り上げられ、スポーツの振興及び市民の関心が高まり、郷土愛の醸成が図られた。</p>	<p>清水監督就任4年目にして御前崎市過去最高成績を収めることができ、現体制での選手育成・強化の方向性について成果が出てきている。今後は現有戦力の底上げと各カテゴリーに競争原理が働くような候補選手の増加を意識し、数年後の上位入賞を目標に取り組む。</p> <p>①継続</p>
事業の妥当性	5												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	4												
御前崎市振興公社との連携 (社会教育課)	3-(1)	75%	<table border="1"> <tr> <td>事業の妥当性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(コスト)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>効率性(人員)</td> <td>3</td> </tr> </table>	事業の妥当性	4	効果性	4	効率性(コスト)	4	効率性(人員)	3	<p>指定管理者による各体育施設を活用した各種運動教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、年度当初は教室の実施ができなかった。しかし感染状況を見て随時教室を開催し、スポーツ振興及び健康増進を図ることができた。</p>	<p>市民のスポーツ振興及び健康増進に連携して取り組む。</p> <p>①継続</p>
事業の妥当性	4												
効果性	4												
効率性(コスト)	4												
効率性(人員)	3												

V 令和2年度教育委員会の活動

(1) 御前崎市教育委員会委員の名簿

(令和3年3月現在)

役職名	氏名	任期
委員	竹田和世	令和元年6月24日～令和5年6月23日
委員	下村勝	平成30年6月24日～令和3年3月31日
委員	島田恵美	平成30年6月24日～令和3年6月23日
委員	吉村勝	平成31年1月17日～令和2年6月23日
委員	松林義樹	令和2年6月24日～令和6年6月23日
教育長	河原崎全	平成30年4月1日～令和3年3月31日

(2) 協議事項

項目	件数	内容
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。	3	<ul style="list-style-type: none"> ○御前崎市教育委員会の主要施策を「スクラム御前崎」としてまとめ、教育委員会に諮り決定した。 ○御前崎市教育振興基本計画について審議した。 ○「御前崎市における今後の乳幼児教育の方針(案)」の承認について審議した。
(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。	6	<ul style="list-style-type: none"> ○御前崎市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について ○御前崎市学校再編計画策定委員会の設置について ○出勤簿整理要領の一部改正について ○通級指導教室(発達障害)さくら規程、通級指導教室(言語)すみれ規程の承認について ○「通級指導教室(発達障害)さくら規程」の一部改正(案)について ○「御前崎市スクラムスクール運営協議会に関する規則」の一部改正について <p style="text-align: right;">について審議した。</p>
(3) 県費負担教職員の懲戒及び校長の任免その他の進退について内申すること。	1	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度教職員人事異動について内申を行った。(うち、懲戒件数0)
(4) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。	2	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度2月補正予算案(2月) ○令和3年度当初予算案(2月) <p style="text-align: right;">について具申した。</p>
(5) 社会教育委員、社会教育指導員及び図書館協議会委員を委嘱すること。	3	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育委員を任命・委嘱した。 ○社会教育指導員を任命・委嘱した。 ○御前崎市立図書館協議会委員を委嘱した。
(6) 教科用図書の採択に関すること。	1	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3～6年度使用の中学校教科用図書を採択した。
(7) その他	10	<ul style="list-style-type: none"> ○御前崎市教育委員会教育長職務代理者の指定について ○新型コロナウイルス緊急事態宣言に伴う学校の休校について ○御前崎市立小中学校休校の延長について ○学校の再開について ○令和2年度準要保護児童生徒の認定について ○令和3年度準要保護児童生徒の認定について ○「御前崎市立・学校組合立学校教育職員の勤務時間の上限に関する方針」の承認について ○御前崎市指定文化財の指定について ○第2次御前崎市子ども読書活動推進計画(案)の承認について ○令和2年度御前崎市教育委員会の活動及び事務について <p style="text-align: right;">について審議した。</p>

VI 総合評価

常葉大学 堀井啓幸

総論：

コロナ禍であっても、多様、多量な教育事務を着実に管理・執行されてきたことを高く評価したい。

「Ⅲ重点取組」と「Ⅳ御前崎市教育委員会の自己点検・評価」との関わりが明確になり、「第2次御前崎市総合計画 2016～2025」との関わりで、ちょうど折り返し地点にある本年度の教育委員会の成果と課題が明らかになってきたように思われる。とりわけ、「5-1-2 地域ぐるみで取り組む青少年健全育成の推進」における社会教育課の役割が明示されて、学社協働、地域ぐるみで取り組む御前崎市教育委員会の姿が組織として見えやすくなった。With コロナ時代にあっても「スクラム御前崎」の機軸でぶれることなく、今後も基本計画に基づきながら計画的に管理・執行されることを期待したい。

各論：

1 スクラム型コミュニティ・スクール

御前崎市の「スクラム型コミュニティ・スクール」は、ある意味で静岡型コミュニティ・スクールの先陣を走ってきており、学校、家庭、地域を結び付ける形で様々な教育的成果をあげてきた。さらにいえば、多様な職務権限を持ち、多くの教育事務を管理・執行する教育委員会において、御前崎市の場合は「スクラム御前崎」という機軸があって、御前崎市の教育行政や学校教育が「スクラム」という言葉でお互い共通理解がしやすい土壌を作っている。その点、「Ⅲ重点取組」における「スクラム運営協議会」の位置づけが限定的になっていることが気になった。コロナ禍でも浜岡中学校では「地域担任」制度を起点にして地域との関わりを積極的に進めているようだ。「Ⅲ重点取組」における「スクラム運営協議会（学校運営協議会）」の位置づけや人的配置を再考することで、「スクラム御前崎」の良さを生かしたこれからの御前崎市における学校教育の在り方を継続して検討されたい。

そのためには、「スクラム御前崎」の基盤を作っていると思われる学校運営協議会の現状と課題の見直し（運営協議会メンバーの世代交代に伴う人材養成、コーディネーター養成、ボランティア拡大に向けての対策、スクラムカレンダーの作成終了に伴う個々の学校における情報提供の在り方の検討等）だけでなく、総合教育会議の意義の周知、防災教育の推進（昨年同様、執行度もその他の評価も低い）など多面的に継続して行いたい。

2 「ギガスクール」構想と青少年の健全育成（スクラム・スクール・プラン）

「情報モラル学習の推進」については「重点取組」に組み込まれているものの、情報教育の推進は今後の課題といえる。「学校の ICT 環境の向上」は、コロナ禍において喫緊の課題であり、新学習指導要領への対応、また、教職員への働き方改革とも密接に関わっている。

「ギガスクール」構想（小中学生に一人一台パソコンやタブレット端末を配置する国の構想）に関わって、御前崎市は静岡県内でも積極的な人的物的支援を行っている自治体といえるが、それらをソフト面において今後どのように生かしていくかが問われる。「ギガスクール」の視点は、学校教育領域のタスクとしてだけでなく、ネット犯罪や「ネット依存の対応」、「ゲーム障害」など青少年指導のタスクとしても学社協働して取り組みをさらに進めていくことも大切である。その点、「スクラム御前崎」の内実に関わる教育委員会における各担当課のさらなるスクラムの在り方も問われている。

平成30年度から始まっている「だれでも食堂もぐもぐ」の開催は、平成26年8月の閣議決定「子どもの貧困対策に対する大綱」における学校をプラットフォームとして捉える施策と密接に関わっており、御前崎市でも家庭教育支援の重要な柱となってきている。「アプローチ・スタートアップブック」などの活用によって「縦のつながり」を強化するだけでなく、プラットフォームとしての学校を中心とした「横のつながり」をさらに強化することで、「子どもの育ち」の多様性を尊重した「スクラム・スクール・プラン」でありたい。

3 地域の活力となる学びの循環へ御前崎市の「強み」を生かす

令和3年3月6日に新校舎の落成式が行われた浜岡中学校は、建築計画委員会発足時に市長が「御前崎市は原発だけではなく、教育の御前崎としても全国から視察に来るような街にしたい」と話された言葉が印象的なシンボリックな学校である。原発に関わるエネルギー教育、日本建築学会賞を受賞し、現在も市民の生涯学習の起点となっている市立図書館（アスパル）、読書活動の充実発展のための図書館司書（3人）の配置。また、新学校給食センター（令和3年9月供用開始）においては、地産地消の一層の推進が目指されているなど御前崎市が誇れる教育資源は少なからずある。今後、御前崎市の教育行政は、こうした様々な「強み」がどこまで教職員や保護者、地域住民に認識され、活用されていくのかが問われよう。

現状において、御前崎市では充実した様々な人的配置がなされているが、教職員の能力向上とどのように関わっているのか。「市独自の学力調査」結果も踏まえて、何を課題として今後どのように改善していくか。多様な教職員研修会、プログラムを組んでおり、それぞれの分野で第一人者と思われる方々が講師として継続して関わっているが、そうした研修会の成果が研修を受講した個人や個々の学校・園だけでなく、御前崎市の人づくりにどこまで生かされているか少し見えにくいところもある（「執行度」が重要な自己点検・評価の指標になっているが、何をもちて執行度〇%といえるのか、現在の自己点検・評価ではそのエビデンスが分かりにくいように思われるので数値とともに質的評価を加えるなど工夫の余地もある）。

「スクラム御前崎」では、幼保小中高、そして、大学進学や社会に出ていく御前崎市の子ども達の育成をどうするかが問われている。どんな人づくりをしていくのか、教職員、教育行政に携わる方々の共通理解がどれだけ進んでいるか。「第2次御前崎市総合計画 2016～2025」の折り返し地点にある本年度の教育委員会の成果と課題を基点に再検討されたい。